

同 儕 会 報

No.

41

NEWS 2026



発行：昭和音楽大学同例会 〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6
TEL 044-953-9862 [E-mail] dourei@tosei-showa-music.ac.jp

同例会ウェブサイト

2026年10月にリニューアル!

未来のクリエイターへ。

早期教育から大学院までの一貫した
音楽クリエイティブ人材の育成プロジェクトに向けて。

昭和音楽大学は、クリエイティブスクールの開校と大学院の専門分野新設により、音楽クリエイターの育成・支援をスタートしました。本プロジェクトを牽引する由雄准教授、森准教授、そして今年度に就任した澤部講師にお話を伺いました。

Special Talk!

▶ P.2へ



会長 ご挨拶

会員の皆さまには、日頃より同例会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

まず、このたびの令和8年熊本地震をはじめ、各地で発生した自然災害により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と平穏な日常の回復をお祈りいたします。

さて、本年度は同例会にとって大変喜ばしい出来事がありました。2023年1月に発足した埼玉県支部が、本年6月に発足記念公演を開催し、ガラコンサートと創作音楽劇「だから埼玉」を上演いたしました。支部会員の皆さまの熱意とご尽力により、多くのお客さまをお迎えして盛会のうちに終了いたしましたことを心よりお祝い申し上げます。こうした地域に根ざした活動は、会員同士の交流を深めるとともに、本学で培われた音楽文化を広く社会へ発信する大切な機会となっています。

また、母校では新校舎の建設が着実に進められており、新たな学びの環境の整備が進んでいます。未来を担う学生たちが充実した環境の

もとで学び、多くの夢や挑戦を実現できるよう、私たち卒業生も母校との絆を大切にしながら支援を続けてまいりたいと思います。

結びに、会員の皆さまのご健勝とご活躍、そして同例会のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同例会 第四代会長 廣田 美穂
Hirota Miho



昭和音楽大学声楽学科卒業。ローマ・サンタ・チェチーリア国立音楽院修了。2007年、第43回日伊声楽コンクールおよび第76回日本音楽コンクール声楽部門で第1位を受賞。2008年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。スペインの音楽祭ではロドリゴ賞を受賞した。藤原歌劇団、新国立劇場などの舞台で活躍するほか、NHK-FM「名曲リサイタル」出演や各地でのアウトリーチ活動にも取り組む。現在、昭和音楽大学准教授、藤原歌劇団団員。2024年11月、第4代同例会会長に就任。

“音遊び”の原点から、 本質をじっくりと学ぶ場へ

由雄 正恒准教授 × 森 篤史准教授 × 澤部 渡講師による
Special Talk!



澤部：僕は2006年に昭和音大に入学しましたが、サウンドプロデュースコース（以下、サンプロ）を選んだきっかけは、高校時代にギターを習っていた先生から「ポップスが学べる大学がある」と教えてもらったことでした。

由雄：当時としては画期的でしたからね。日本の音楽教育では、クラシック音楽を学ぶなら音大、ポピュラー音楽なら専門学校という暗黙の棲み分けがあったので、2003年に大学サウンドプロデュースコース、短大ポピュラー音楽コース^{*}を開設する際には、専門学校とは異なる特色を打ち出しながらも、音大の伝統に縛られない新しい教育の形をめざしていました。「ポピュラー音楽業界で活躍できる人材の育成」という前例のない挑戦に、教員の間で相当議論を重ねました。

^{*}ポピュラー音楽コース＝現：ポップ&ロックミュージックコース

澤部：おそらく大学の意図としては、1・2年生で基礎を固めて、3・4年生でプレイヤーやソングライター、アレンジャーなど、自分がめざす方向を見出して専門性を深めていく流れだったと思うのですが、僕は何でもやってみたいタイプなので、どれも楽しそうだなとあれこれ手を出しているうちに、そのまま卒業しちゃいました（笑）。

森：サンプロのカリキュラムの特徴は、クリエイティブな能力、実技、プロデュースや音楽ビジネスに関わる実務など、プロの音楽制作に必要な知識や技術をバランスよく学べることにあります。だから、澤部くんのように方向性を一つに絞らないまま卒業するのも全然アリだと思うんです。そういえば、学生時代の澤部くんは、いつも何かに悩んでいましたよね。

澤部：自分が音楽に対してどういう態度を

とっているのか、自分の音楽の熱がどこにあるのかといったことを考えて、常に悶々としていました。そんな僕を救ってくれたのが、森先生の授業だったんです。最初の授業で「君たちにとってより大切なこと、まずは音楽を聴く耳を鍛えましょう」と言って、プリンスのビデオを観たり、アース・ウィンド＆ファイヤーの曲を聴いて転調する回数を数えたり。とにかく古今東西、さまざまな音楽を聴いていくスタイルで、すごく刺激的でした。

由雄：すぐに使えるテクニックだけを教えるのではなく、10年後、20年後に音楽業界で活躍できる人材を育てる。それが教育のコンセプトでした。開設から20年以上が経ち、澤部くんをはじめ幅広いジャンルで活躍しているサンプロやポピュラーの卒業生がいることは、じつに感慨深いですね。こうした実績をもとに、今年度から音楽クリエイティブ人材の育成プロジェクトがスタートしましたが、ベースにあるのは同じコンセプトなんですよ。

澤部：僕が今年度から講師を務めるにあたり、森先生からは「プロのミュージシャンがいかのたうち回って曲を作っているのかを学生たちに見せてほしい」と言われました。僕が作曲するときは、ギターを弾きながらボイスメモで録音して、いい案が出るまでこねくり回しているんですが、授業ではそのボイスメモを聴きながら、一例として、理論からは少し離れた「作曲りとは？」という部分を率直に見てもらっています。

森：音楽界でもAIが急速に浸透して、さまざまな“答え”を簡単に得られるようになるなか、澤部くんの授業を通して、自分の頭で考え、悶え苦しみながらも地道にやっていくことの

大切さを学生たちに体感してほしいんです。

由雄：たしかに、若い世代は性急に答えや正解を求めがちですけど、大事なのは時間をかけて掘り下げることなんですよ。実際、4月に開校した小学5年生から学べるクリエイタースクールは、いわゆるDTM教室ではなく、たとえばアコースティックな楽器で音を鳴らしてみ、どういうリズムが作れるのか、どういうアンサンブルができるのかを考えてみようというところからスタートします。

森：マニュアル通りの教育から一歩踏み出して、発想力や柔軟性を養っていくことも、クリエイタースクールの役割かもしれないですね。作曲って、そもそも“音遊び”ですね。その延長として、楽しいから続けるし、わからないから調べる。それが“学び”なんですよ。

由雄：さらに突き詰めていくと、これからのクリエイターには課題解決力も求められます。自ら問題点を見つけ、どう解決していくかを考える力を培うことが、やはり大切だと思います。答えが決まっているようなことは、AIができることになりますから。2027年度に大学院にもポップ&ロックミュージック、サウンドプロデュースが新設されますので、そこでは社会実装を想定したコンテンツやプロジェクトまで、学生のさまざまな発想を支えていきたいと思っています。

澤部：例えば、僕の曲を他の人に演奏を頼んで、自分にないものを出してくれたら、それはAI的にはエラーだと思うんですよ。そういう部分を面白がりつつ、AIとは冷静に付き合っていきたいですね。そんな変革の時代に、未来の後輩たちがどんな音楽を聴かせてくれるのか、今から楽しみです。



由雄 正恒 准教授
Yoshio Masatsune

昭和音楽大学作曲学科、IAMASアート・アンド・メディア・ラボ卒業。作曲家、メディアマスターNo.75。コンピュータによる芸術作品の創作を専門とし、作品は

ICMC(国際コンピュータ音楽会議)をはじめ、国内外の音楽祭やコンサートで上演される。2006年MOTUS夏期アトリエ・パリに参加。日本作曲家協議会、先端芸術音楽創作学会、日本音楽即興学会、情報処理学会音楽情報科学研究会会員、日本電子音楽協会理事。



森 篤史 准教授
Mori Atsushi

昭和音楽大学作曲学科卒業、同大学院修了。作曲家、ピアニスト。1987年PTNAピアノコンペティションA1級銀賞受賞。1993年ヤマハJOC海外公演にてワルシャ

ワ・フィルハーモニー管弦楽団と自作曲を共演。2002年学生オーケストラの祭典「Fanfare」を作曲。キーボード、作編曲、レコーディング、DAWを用いた音楽制作などで幅広く活動するほか、ポピュラー音楽の楽曲分析、ソルフェージュ教材の開発も行っている。



澤部 渡 講師
Sawabe Wataru

昭和音楽大学サウンドプロデュースコース卒業。シンガーソングライター、作曲家。ソロプロジェクト「スカート」の活動を中心に、映画、アニメーション、ドラマの劇伴

音楽や楽曲制作を数多く手がける。映画『音楽』（監督：岩井澤健治）では、アヌシー国際アニメーション映画祭最優秀オリジナル音楽賞を受賞。アーティストへの楽曲提供を行うほか、スピッツ、川本真琴、ムーンライダーズなどのライブ・レコーディングにも参加している。

音楽クリエイターの 育成・支援について

昭和音楽大学が取り組む「早期教育から大学院までの一貫した音楽クリエイティブ人材の育成」プロジェクトは、「文化活動基盤強化基金」の「クリエイター等支援事業」に採択されました。

詳細はこちら
プロジェクト
特設サイト



本部主催公演 REPORT

埼玉県支部発足記念演奏会 2026年6月20日(土) 埼玉会館小ホール

出演者から
message



山舘 冬樹

埼玉県支部長

東京声専音楽学校(現:昭和音楽大学)
オペラ研究科修了
現在、昭和音楽大学客員教授

去る6月20日、埼玉会館小ホールにて埼玉県支部発足記念演奏会を開催いたしました。第1部は“お耳がとろけるミュージック幕の内弁当”と銘打ってソロ演奏、オペラの二重唱、そしてサクソフォン四重奏を、そして第2部は発足後検討を重ね創作に至った“なるほどハンカチコメディ”の副題を冠した音楽劇『だから埼玉』を上演いたしました。私達支部の求める幅広い年代に楽しんでもらえる地元埼玉の歴史・風土を織り込んだオリジナル作品の上演に会場は笑いと喝采に包まれました。



平賀 僚太

昭和音楽大学大学院修士課程
音楽芸術表現専攻(オペラ)2020年3月修了
現在、埼玉県支部役員(庶務担当)

まさか埼玉を舞台にした音楽劇ができるとは発足当初の自分は思っていませんでした。役員ながらキャストの一員として出演し、熱のある公演に携われたのは大変光栄であります。お客さまの再演を望む声や終演後の笑顔を胸に、次年度も埼玉県支部を盛り上げていければと思います。

昭和音楽大学同協会埼玉県支部は、2023年1月に埼玉県出身の卒業生の活躍を支援し、会員相互の交流促進を目的として発足しました。山舘冬樹支部長、阿瀬見貴光副支部長が中心となり、今回記念すべき第1回目の演奏会を開催しました。本演奏会は、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会の後援を受け、「地域のお客様が楽しめる演奏会」「地域社会と若い演奏家がつながる演奏会」「昭和音楽大学の認知度向上につながる演奏会」をコンセプトに企画されました。創作音楽劇など、既存のスタイルにとらわれない新たな試みを取り入れ、幅広い世代の方々に音楽を楽しんでいただける内容となりました。当日は200名を超えるお客様にご来場いただき、出演者による熱演に温かい拍手が送られました。来場者からも好評の声が多く寄せられ、地域社会と卒業生、大学をつなぐ有意義な機会となりました。昭和音楽大学同協会埼玉県支部の今後の活動に、ご支援いただきたくよろしくお願い申し上げます。

2026若きアーティストたちの響演 アルテリッカしんゆりプライベート

ミュージカル・スプリング・ライブ
～昭和音楽大学同協会とともに～

2026年4月12日(日) 昭和音楽大学スタジオ・リリエ

「歌とダンス、そして若さに溢れたミュージカル・ライブで心躍るひと時を！」をテーマにしたライブコンサートを開催しました。Disney Princess Medley や Dancing Queen など、世代を問わず親しまれている楽曲が次々と披露され、会場は終始笑顔と拍手に包まれました。2回公演で約300名のお客様にご来場いただき、出演者のエネルギーあふれるパフォーマンスと美しい歌声が観客を魅了しました。



2026若きアーティストたちの響演 アルテリッカしんゆりプライベート

ジャズ&ポピュラーライブ
～昭和音楽大学同協会とともに～

2026年4月11日(土) 新百合トウェンティワンホール

昭和音楽大学ジャズ・ポピュラー音楽コースの卒業生と在校生によるスペシャルライブを開催しました。フレッシュな才能あふれる出演者たちが、ジャズやポップスの名曲の数々に加え、オリジナル曲も披露。情熱あふれる演奏と個性豊かなパフォーマンスが会場を沸かせました。約150名のお客様にご来場いただき、観客の皆様は心地よい音楽に耳を傾けながら、学生・卒業生たちの高い音楽性とエネルギーを存分に楽しみました。



2025年度 REPORT

本部・支部総合連絡会

2025年11月3日(月・祝)
昭和音楽大学南校舎



当日は42名の役員が出席し、本部や各支部の演奏会開催状況、今後の活動方針など活発な意見交換が行われました。

同協会組織

会 長 廣田 美穂(学部12期)

名誉会長 角南 篤(学長)

名誉顧問 下八川 共祐(理事長)

顧 問 黒田 隆(短大2期) 的場 辰朗(短大3期) 八尋 久仁代(短大5期)

監 事 飯田 佐恵(学部5期) 由雄 正恒(学部12期)

幹 事 中村 佳子(声専卒) 山舘 冬樹(声専修) 川原 比登美(短大20期)

松島 秀幸(学部3期) 福本 信太郎(学部7期) 藤原 海考(学部10期)

横澤田 朋美(学部12期) 黒田 晋平(学部15期) 西海 幹樹(学部15期)

吉田 健一郎(学部20期) 山崎 理紗(学部25期) 荻本 佳希(学部26期)

森 篤史(院5期) 梅北 直昭(院11期) 後藤 正孝(院12期)

特任幹事※ 下八川 公祐(副理事長) 萩原 かおり(教授・ミュージカル分科会主査)

※特任幹事は本学教職員の中から指名されます。

部会・各エリアからのメッセージ

全国
35支部

会員数30,000名の
卒業生ネットワーク!

Website

SNS



音楽療法部会

研究会を開催中

同協会音楽療法部会は、神奈川県川崎市を拠点とし、音楽療法をはじめ医療、教育、福祉など関連領域で主に音楽を使用した活動に携わる卒業生を中心に活動しています。毎年3回開催する研究会は、対面とオンラインのハイブリッド型で、日本中さらには海外からもご参加いただけます。

昨年(2025年度)には部会内で“特別支援教育ユニット”が始動し、おもに音楽療法的な視点を活かしながら特別支援教育に携わる会員が活発に交流しています。

同協会員の皆さまへ

引き続き、日本音楽療法学会登録団体として活動しています。秋学期の研究会についてはウェブサイトをご覧の上、下記の専用メールアドレスまでお問い合わせください。

※大学代表宛のお問合せはご遠慮くださいますようお願いいたします。

連絡先: 音楽療法部会会長 >> 三浦 優佳

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

FAX 044-953-1311

(大学内 同協会音楽療法部会)

✉ dourei.mt@gmail.com (大山、三浦宛)

Web <https://mt-dourei.jimdosite.com/>



アートマネジメント部会

今年で32年。 卒業生が活躍しています!

1994年、昭和音楽大学に日本で初めて「アートマネジメント」の専門コースが設立され、今年で32年となります。当時は「アートマネジメント」という概念が無く、説明を求められることが多々ありました。今では舞台芸術業界の仕事として定着し、全国の劇場や団体で多くの卒業生が活躍しております。

本部会は、卒業生の「勉強会や情報交換をしたい」という思いから2011年に発足しました。定期的に勉強会や同窓会を開催し、卒業生や大学との充実した情報交換の場の提供をめざして活動しております。企画ご提案やご要望がございましたら、お問い合わせください。

同協会員の皆さまへ

アートマネジメントコース卒業生・在学生にお知らせしたい公演情報などがございましたら、お気軽にご連絡ください。メール登録されているメンバーに配信してお知らせいたします。

アートマネジメント部会会長 >> 中村 如子

連絡先: 事務局 >> 武内 南津子

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

FAX 044-953-1311

(大学内 同協会アートマネジメント部会)

✉ am-dourei@tosei-showa-music.ac.jp



教職部会



昭和音大出身の音楽科教員のために

教職部会は、2010年に発足した教職課程履修卒業生による研究会です。年に一度、研究会を開催しています。例年、実際に現場でご活躍されている先生方に模擬授業や講義をしていただいています。また、現役の小・中・高や特別支援学校の先生をはじめ、教職に興味のある方、学生などにご参加いただき、授業の工夫や教材のアイデアなど、様々な意見を交換行っています。昨年度は、神奈川県川崎市の指導主事をお呼びして、実践あるお話をいただくことができました。教職部会では、昭和音大出身というつながりを大切に、音楽科教員の役に立てるようにと考えながら日々活動しています。

教職部会への入会も、随時募集しています。詳しくはFacebook又は、メールにてお問い合わせください。

連絡先: 教職部会会長 >> 中島 健太

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

(大学内 同協会教職部会事務局)

TEL 044-953-1121 (教職課程研究室)

✉ [入会専用] kyoushokubukai.project.team@gmail.com

[お問合せ専用] showa.kyoushoku@gmail.com



札幌支部

札幌支部では、昨年開催された同協会北海道支部サミット親睦会を契機に、札幌市外へ活動の場を広げる「出張ミニ・コンサート」を企画しています。

第一弾として、来春は千歳市での開催を予定しています。新千歳空港を擁し、次世代半導体事業の進展により注目を集める千歳市において、音楽を通じた地域との交流を深め、同協会の活動を広く発信する機会となることを期待しています。

連絡先: 支部長 >> 高橋 雅子

✉ dourei@tosei-showa-music.ac.jp



旭川支部

旭川支部は会員各自の立場で音楽活動に励んでいます。施設への慰問コンサート、幼稚園等で音の喜び、楽しさを届けると共に親睦を深めています。現在は次回へ向け充電期間中ですが、年に一度開催の支部総会で、案が出ましたら演奏力向上の勉強会なども慎重に話し合いを重ねる予定です。

旭川近郊にお住まいの同協会会員の皆様、一緒に活動しませんか?

詳細は旭川支部 伴美由紀まで!

お待ちしております。

連絡先: 支部長 >> 伴 美由紀

帯広支部

帯広支部会員の多くは、それぞれ十勝・帯広を中心に、演奏会やコンサートなど幅広く音楽活動を展開しています。

支部としても2027年冬頃のコンサート開催に向けて準備を進めております。

今後も地域に根ざした音楽活動を通じて交流を深めてまいります。

連絡先: 支部長 >> 松隈 準

✉ doureikai.obihiro@gmail.com

苫小牧支部

毎年、少なくとも年に一度は、支部総会として集う機会を設けております。現在、必ずご参加くださり実現できている人数は4名と少ないですが、同じ学び舎を卒業した先輩たちと会話でき、情報交換できる時間はとても充実した楽しいひと時となっております。

仲間が増えることを待ちにしております。気兼ねなくご連絡をいただけたら嬉しいです。

連絡先: 支部長 >> 齋藤(鈴木) 加菜子

函館支部

函館支部は今年、40周年を迎えることができました。これまで函館支部を支えてくださった皆様、会員の皆様に厚く御礼申し上げます。函館支部では年に一度総会を行っております。会員同士お話しすることができる場となっております。実際に顔を合わせることを大切にしつつ、各々マイペースに活動しております。また、演奏会などの情報交換の場としても支部活動を生かしています。道内および全国の支部との交流を大切に今後も活動したいです。

連絡先: 支部長 >> 門間 菜裕子

✉ mmayuko2@gmail.com

岩手県支部

岩手県支部では、来年9月に3回目の支部コンサートを開催しようと動き始めています。それから地域の敬老会や福祉施設などで演奏し、喜んでいただいています。これからも活動の場を広げていきたいと思っています。一緒に活動してください。皆様の参加を心よりお待ちしております。お気軽に連絡をお願いします。



連絡先: 支部長 >> 藤田 亜希

その他の 室蘭支部長 >> 佐土 紀久子 長野支部長 >> 滝澤 千代美 松本支部長 >> 西村 美知子
支部 ミュージカル部会、北見、釧根、福島県、神奈川・東京エリア、福井県、静岡県、静岡県東部、浜松、
関西、福岡県、熊本県、沖縄県の部会および各支部につきましては、本部にお問合せください。

お問い合わせは各支部、または本部にご連絡ください。

昭和音大 + 支部名

本部:  dourei@tosei-showa-music.ac.jp

宮城県支部

宮城県支部では今年度も例年通り1月に支部総会を行う予定です。
支部活動としては数年に1度の演奏会開催を目指しており、来年度に開催できればと考えております。
今後、会員の皆様へご出演募集のご案内をいたしますので、初めての方はもちろん、過去にご出演くださった方もお気軽にお問合せください。
また、当日のスタッフも募集いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

連絡先: 支部長 >> 奈良 安希子



群馬県支部

1～2年に一回、県央(前橋・高崎)での演奏会開催を中心に運営しています。
今年度より新しい役員も加わり、より充実した支部活動を目指しています。
昨年は高崎市で演奏会を開催しました。
今後も会員の皆様の積極的な参加を心待ちにしております。

連絡先: 支部長 >> 竹松 彩乃



栃木県支部

栃木県支部は宇都宮市を拠点に不定期で活動しており、卒業生の演奏会の情報発信や運営のサポートを行っています。同じ学び舎で学んだ仲間ならではの絆を大切にしながら交流を深め、笑顔の絶えない和やかな支部活動を続けています。
昨年度は2026年1月31日に須賀友正記念ホールで「声楽家と伴奏のためのオペラセミナー & コンサート」を開催しました。
2027年は1月に演奏会を予定しています。



連絡先: 支部長 >> 森川 恵子

茨城県支部

同窓生の親睦と音楽活動の発展を目指し活動中です。只今、新メンバーを大募集しております。
5月には総会とエレクトーンでのアンサンブル講座を開催しました。また、2027年6月6日(日)に水戸市民会館中ホールにて「昭和音楽大学同窓会茨城県支部発足40周年記念演奏会」を開催します。
皆様のご来場をお待ちしております！
お気軽にお問い合わせください。

連絡先: 支部長 >> 鍵和田 早織
 doureikai.ibaraki@gmail.com



千葉県支部

昨年度は音楽療法講座とMUSICHIBAリサイクルシリーズvol.4を開催しました。今年度は6月28日(日)MUSICHIBAvol.7と題した支部コンサートの他、支部バックアップ企画の10月24日(土)小野史敬打楽器コンサート、12月6日(日)齋藤隆サクソフオンコンサートを開催します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



連絡先: 支部長 >> 米倉 暁彦
副支部長 竹下 喜子、佐和田 里恵



山梨県支部

山梨県支部では、2025年10月25日(土)に「ハロウィンコンサート」を開催しました。今迄のクラシックのコンサートとは異なる形でしたが、反響も大きく、その後の山梨県の新人演奏会にも、影響を与えることとなりました。
私達と一緒に音楽の楽しさを伝えられるコンサートを作ってみませんか？
皆様の参加を、お待ちしております。

連絡先: 支部長 >> 長沼 晴美

諏訪支部

諏訪支部では今年の6月に親睦旅行をしました。今回は歌舞伎を鑑賞し、アフタヌーンティーを楽しみました。今年から例会に参加された方とも親睦を深めることができました。
また、2027年4月18日(日)の第17回演奏会に向けて準備を始めました。毎月第3木曜日に例会を行い色々な情報交換の場となっています。
一緒に活動してくださる方を募集しています。
是非ご連絡ください。

連絡先: 支部長 >> 両角 美枝
 dourei_suwa@yahoo.co.jp

石川県支部

石川県支部では昨年8月24日、金沢市アートホールにて第34回支部演奏会を開催しました。声楽、フルート、トランペット等のプログラムで盛会に終えることができました。支部では一緒に活動してくださる方を募集しています。会員も仲が良く、伴奏を依頼したりアンサンブルを組んだりしています。楽しく活動できると思いますので、ぜひご参加ください。ご連絡お待ちしております。



連絡先: 支部長 >> 松田 裕子



富山県支部

富山県支部では昨年11月9日に第3回支部演奏会を開催しました。古江那葉先生をお迎えし、木管アンサンブル、声楽、フルート、ファゴットの演奏を披露しました。最後には全員合唱で、ふるさとの空(富山県民の歌)を声高らかに歌い上げました。
これからも演奏会を定期的で開催していけたらと考えています。



連絡先: 支部長 >> 摺出寺 敬子



高知県支部

高知県支部では昨年に引き続き、オータムコンサートを開催いたします。
近年、新人会員との交流が続く幅広い層での活動を嬉しく思っております。
又来年の支部発足40周年記念に向けて始動いたします。
皆様の参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

連絡先: 支部長 >> 宮原 みか

長崎県支部

長崎県支部では、現在LINEでのネットワークを広げております。同郷であれば県外にお住まいの方も歓迎します。長崎での演奏会情報を共有してみませんか？
個人的なリサイクルもお手伝いさせていただきます。演奏者が集まれば、コンサート実施も考えております。
連絡をお待ちしております。

連絡先: 支部長 >> 野田 隆博

鹿児島県支部

鹿児島県支部は、発足10年を迎えました。現在では、卒業生が鹿児島の様々なステージで活躍しています。2025年12月の「かごしま県民第九」では、卒業生二人がソリストに選出されたほか、歌やサクソフオン、JAZZなど幅広い分野で高い評価を得ています。また、卒業生の演奏活動や進路を支援しており、4月には中学校音楽教員として新たな一歩を踏み出した卒業生もいます。
演奏活動や音楽教育を目指す皆さん、ぜひ鹿児島県支部へご相談ください。

連絡先: 支部長 >> 湯之前 学

同侪会奨学金

昭和音楽大学同侪会 海外留学・研修等海外渡航奨学金

人格、技能ともにすぐれ、将来大成が期待される者で海外留学・海外研修を希望する者に対して助成を行っています。

【令和7年度 対象者】

竹中 晋平 (CL 2025年3月大学卒業) ----- ベルギー／ブリュッセル王立音楽院

鈴木 嘉仁 (Pf. 2024年3月大学卒業) ----- フランス／エコール・ノルマル音楽院

小岩井 恒輝 (Sax. 2024年3月大学卒業) ---- フランス／リヨン地方音楽院

徐 大愚 (オペラ 2023年3月大学院修了) ----- イタリア／ローマ歌劇場“Fabbrica”ヤング・アーティスト・プログラム

福住 尚大 (Sax. 2023年3月大学卒業) ----- フランス／パリ国立高等音楽・舞踊学校

昭和音楽大学同侪会 国内研究・研修奨学金

日本国内における一定の研究・研修機関で各専門分野の更なる研究・研修活動の継続を希望する本会会員の支援目的をはかり、奨学金を助成します。

【令和7年度 対象者】

伊藤 咲葉 (オペラ 2025年3月大学院修了) ... 公益財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部

令和8年度 募集期間

国内研修奨学金：6月8日～7月31日 (今期募集終了)

海外研修奨学金：6月8日～8月28日 (今期募集終了)

〈お問合せ〉昭和音楽大学同侪会本部／TEL 044-953-9862 E-mail dourei@tosei-showa-music.ac.jp

ご支援のお願い

SHOWA 寄付基金

本学では、学生への修学支援を第一に考え、より充実した教育研究環境の整備に努めております。しかしながら、経済的な理由により学業の継続が困難な学生への支援や、教育研究用設備の更新・充実など、多くの課題を抱えております。

皆さまからお寄せいただくご寄付は、主に奨学金事業の充実、教育研究用設備等の整備・充実、教育研究に関する事業の推進などに活用し、学生が安心して学べる環境づくりと、より質の高い教育研究活動の実現に役立ててまいります。

若者たちが希望に満ちあふれ夢を叶えるため、彼等の背中を少しでも後押ししていただけますのなら「ご寄付」という形で一助をいただけたら幸いです。「明るい未来へ繋げる」皆さまのお力添えを、心よりお待ちしております。



詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

- 個人のご寄付 (8項目から支援先を選択可能)
- 法人・団体のご寄付 ●遺贈・相続によるご寄付
- リサイクル事業 きしゃぼん

News Topics!

「第41回日本管打楽器コンクール」 マリンバ部門で第1位を受賞

小嶋 義貴 さん

2024年3月大学院修士課程 (弦・管・打楽器) 修了 香川県出身

日本管打楽器コンクールは国内有数のコンクールとして広く知られており、多くの優れた演奏家を輩出しています。その中で小嶋さんは卓越した演奏技術と豊かな音楽表現力が高く評価され、栄えある第1位に輝きました。あわせて特別大賞演奏会にて聴衆賞を受賞しました。小嶋さんの今後ますますのご活躍を期待しています。



～ message ～

この度、第41回日本管打楽器コンクールマリンバ部門におきまして、第1位を受賞いたしました。在学中よりたくさんのご支援と貴重な機会をいただいていた皆様に、このような嬉しいご報告ができることを大変光栄に思っております。昭和音楽大学では学部・修士課程と計6年間学び、その中で得たすべての経験が、今回の結果をもたらしてくれたのだと感じています。素晴らしい環境で学ばせていただいた喜びと感謝、この場を借りて深くお伝え申し上げます。

2027年度
新設

音楽界の未来を切り拓く人材の育成をめざし、
大学院に新たな専門分野が誕生します。

修士課程 音楽芸術表現専攻

ポップ&ロックミュージック

ポップスやロックなど現代音楽に関する幅広い知識と演奏技術を学びます。実技レッスンやアンサンブル、作曲・編曲を通して、表現力や創造力を高め、音楽活動に必要な実践力を身につけます。

サウンドプロデュース

サウンドプロデュースに必要な高度な技術力・表現力・発信力を養います。産学連携による実践的な研究やプロジェクトを通して、音楽制作から企画・発信までを担うプロデュース力を身につけます。

博士後期課程 音楽芸術専攻

音楽芸術表現演奏領域

声楽・器楽演奏および作曲・指揮において高度な実技研究を行います。演奏発表や作品提出、国内外のコンクール・演奏会への参加を通して、国際的に活躍できる高度な専門性と実践力を養います。

下八川共祐理事長が 川崎市文化賞を受賞

音楽をはじめとした文化芸術の振興および地域の活性化に多大な貢献をされたとして、下八川共祐理事長が令和7年 第54回川崎市文化賞 (芸術) を受賞しました。



新学部棟起工式

2025年10月29日、新学部棟の起工式が執り行われました。当日は理事長、学長をはじめ本学関係者、工事関係者が集い、安全祈願が行われました。2027年4月、いよいよ芸術工学部が開設されます。(現在、認可申請中)



卒業生の特典

チケット優待販売

昭和音楽大学

第51回 メサイア

G.F. ヘンデル 原語(英語) 歌唱/日本語字幕付

12月12日(土) 開演15:00

テアトロ・ジューリオ・ショウワ

S席 3,500円 A席 3,000円 B席 2,500円

学生 1,000円(小〜大学生 B席のみ)

指揮: 時任 康文

独唱: 八木下 葵衣(S)、宇津木 明香音(A)

原 優一(T)、宮下 嘉彦(B)



詳細はこちら



第50回メサイア公演より

同僚会員はチケット1割引!

[優待販売締切: 11月30日(月)]

S・A・B席を1割引で購入できます(学生券対象外)。本人含む4名様まで受付。ぜひお越しください。

支払・引取方法: 大学窓口またはセブンイレブン(手数料有)
※すでにご購入済みのチケットのキャンセル、返金はできません。

【お問合せ】昭和音楽大学チケットセンター

TEL 044-953-9899(平日10:00~18:00)



© 昭和音楽大学 撮影/小原敬司

「小原・堀田写真コレクション」写真展開催!

ご案内

2026年は、小原敬司氏生誕130年・没後40年、堀田正實氏生誕90年の節目の年にあたります。これを記念し、本学所蔵の「小原・堀田写真コレクション」より、各専門分野の教員が選んだ「未来に残したい1枚」を展示する写真展を開催いたします。本コレクションは、当時の音楽界を物語る貴重な資料です。写真に写しとられた音楽文化の記憶と、未来へ受け継ぎたい価値を、選者それぞれの想いとともにお届けします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

【会期(予定)】 第1期: 2026年10月上旬~12月下旬 テアトロ・ジューリオ・ショウワ
第2期: 2027年1月上旬~3月下旬 ユリホール(南校舎5F)

※本写真展は、会場で開催される演奏会・イベント等へのご来場時にご覧いただけます。
写真展のみを目的としたご入場はできませんので、あらかじめご了承ください。

兄弟姉妹等の学費減免制度

本学学生の兄弟姉妹、または卒業・修了者の子弟や配偶者に対し、入学金を減免します。
(入学後の申請により返還) 【お問合せ】学生生活支援室 TEL 044-953-9835

昭和音楽大学もしくは同短期大学部に
在籍する者の兄弟姉妹または配偶者が
大学・短大のいずれかに入学する場合

入学金全額免除

昭和音楽大学・同短期大学部・昭和音楽芸術学院
(東京声専音楽学校)を卒業・修了した方のおよび
兄弟姉妹または配偶者が本学に入学する場合

入学金半額免除

名称後援

卒業生の皆さまが演奏会を開催される際に「昭和音楽大学同僚会」の名称で後援を受けることができます。申請などの詳細は同僚会ウェブサイトまで。

ご住所変更される方へ

ご住所を変更される会員の方は、新住所を同僚会本部までお知らせください。大学のお知らせをご送付いたします。(大学ウェブサイト「卒業生情報登録・変更フォーム」から変更できます)

附属機関のご紹介



音楽・バレエ教室

お子さまからご高齢の方まで幅広い世代が学べる教室です。新百合ヶ丘をはじめ8拠点で展開し、一人ひとりの「楽しい!」「できた!」を大切にサポート。春・秋の入室金無料キャンペーンや、卒業生向け施設利用割引も実施しています。



Pathways (パスウェイズ)

音大受験をめざす中学生・高校生・既卒生向けの受験対策スクールです。本学講師による個人レッスンやソルフェージュを継続して受講でき、オンラインレッスンにも対応。入学金減免制度や無料体験レッスンも用意しています。



ピアノアートアカデミー

真に魅力あふれる音楽家の育成をめざすピアノアカデミーです。技術や表現力の向上はもちろん、個性と豊かな人間性を育みます。小学生から一般までが学び、マスタークラスや公開講座、コンサートも積極的に開催しています。



ストリングスアカデミー

NHK交響楽団元コンサートマスターの伊藤亮太郎アカデミー主任教授をはじめ、日本を代表する音楽家が指導。年齢や経験を問わず個人・室内楽レッスンを受講でき、分数量器の無料貸出や子ども向け受講料支援制度も用意しています。



クリエイタースクール

昭和音大がプロデュースする小学5年生から高校生のための音楽クリエイタースクールです。楽器・ヴォーカル・作曲・DTMなどをプロ講師が指導。入室金無料、休室料無料で気軽にスタートでき、キャンパスの充実した環境で実践的に学べます。

昭和音楽大学同例会 決算・予算報告

令和7年度 決算

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日
(単位:円)

収入の部	予算	決算	差異
会費収入	12,684,000	12,684,000	0
事業収入	800,000	547,070	▲ 252,930
記念演奏会収入	600,000	0	▲ 600,000
受取利息収入	1,000	28,861	27,861
前年度繰越金	34,950,109	34,950,109	0
その他	0	0	0
収入の部 合計	49,035,109	48,210,040	▲ 825,069

支出の部	予算	決算	差異
主・共催事業経費(注)	6,974,998	6,306,698	668,300
新規事業費	0	0	0
記念演奏会経費	1,200,000	0	1,200,000
支部活動助成金	1,000,000	1,069,683	▲ 69,683
同例会報制作費	1,602,000	2,163,196	▲ 561,196
支部出向経費	403,000	68,030	334,970
総合連絡会経費	1,075,000	833,100	241,900
業務委託費	3,000,000	2,565,000	435,000
本部事務消耗品費	609,000	532,082	76,918
奨学助成金	2,100,000	2,602,982	▲ 502,982
慶弔費	400,000	30,000	370,000
法人税等	70,000	70,000	0
次年度繰越金	30,601,111	31,969,269	▲ 1,368,158
支出の部 合計	49,035,109	48,210,040	825,069

(注)本部主催事業経費に加え、学食100円朝食・200円夕食支援(約320万円)も計上されています。
(千円単位四捨五入)

令和8年度 予算

自 令和8年4月1日
至 令和9年3月31日
(単位:円)

収入の部	
会費収入	11,060,000
事業収入	800,000
記念演奏会収入	600,000
受取利息収入	25,000
前年度繰越金	31,969,269
収入の部 合計	44,454,269

支出の部	
主・共催事業経費(注)	7,204,000
記念演奏会経費	1,200,000
支部活動助成金	1,000,000
同例会報制作費	610,000
支部出向経費	403,000
総合連絡会経費	995,000
業務委託費	2,600,000
本部事務消耗品費	656,000
奨学助成金	2,100,000
慶弔費	250,000
法人税等	70,000
次年度繰越金	27,366,269
支出の部 合計	44,454,269

(注)本部主催事業経費に加え、学食100円朝食・200円夕食支援(約350万円)も計上されています。(千円単位四捨五入)

！ 重要なお知らせ(今後の会報について)

昭和音楽大学同例会会報の発行に際しましては、日頃より多くの卒業生の皆さまにご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

同例会会報は、例年9月に発行し、卒業生の活躍や各支部の活動状況、大学の最新情報などをお伝えする場として、多くの皆様にご覧いただいてまいりました。

このたび、昭和音楽大学同例会本部では、会員の皆さまへの情報発信のさらなる充実を目的として、同例会ウェブサイトのリニューアルいたします。これに伴い、これまで年1回としていた会報の発行方法を見直し、新たなウェブサイト上で年数回にわたり情報を発信してまいります。

今後は、卒業生の演奏会や出演情報などの最新ニュースをはじめ、各支部の活動報告や大学からのお知らせなどを、これまで以上に見やすく、タイムリーにお届けいたします。また、旬の話題やイベント情報の発信を通じて、卒業生同士の交流を促進し、卒業生ネットワークのさらなる活性化を図ってまいります。

同例会では、これからも卒業生と母校を結ぶ架け橋として、親しみやすく魅力ある情報発信に努めてまいります。ぜひ新しくなった同例会ウェブサイトをご活用いただきますとともに、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同例会新ウェブサイト

2026年10月よりリニューアル

昭和音大 同例会本部

検索

教員の異動 (敬称略)

新任

教授／大角 欣矢(音楽文化研究)

准教授／林 良(J&Pピアノ)

平川 象士(ドラムス)

倉持 欣幸(アートマネジメント)

訃報 慎んでご冥福をお祈りいたします

同例会元役員／深野 広美(2026年4月10日逝去)

株式会社プレルーディオ

昭和音楽大学・同短期大学部におけるキャリア支援を実践する音楽企画制作会社です。若手アーティストの演奏活動を支援するため様々な主催公演を実施し、たくさんの卒業生が出演しています。

2023年7月からはアートマネジメントコース卒業生の黒田晋平が代表取締役役に就任し新たなスタートを切りました。

皆さま方のご支援、よろしくお願い申し上げます。

同例会は(株)プレルーディオに出資しています。



<https://www.preludio.co.jp>

プレルーディオ

検索

[個人情報保護に関わる基本方針]

- 昭和音楽大学同例会本部では、会員の個人情報として、「氏名」「住所」「電話番号」「卒業年」などのデータをコンピュータで管理しています。これらの個人情報は、終身会費などの管理、会報等の送付や同例会の支部活動及び、昭和音楽大学の活動の目的で使用しています。
- 会員の個人情報は、入学時点の入会手続きの情報をもとに登録しています。当該情報の第三者への開示を望まない場合(「公開不可」)は、住所変更の手続きに準じて、その旨を事務局まで書面(FAX及び電子メールを含む)にて届け出てください。届出のない場合は、原則として「公開可」とみなします。
- 個人情報の照会・訂正・削除は、書面(FAX及び電子メールを含む)をもって申請されたものに限られ、被照会者の同意を確認した上で回答します。
- 卒業生の個人情報は、情報集約のために、大学と同例会が共同利用します。

発行／昭和音楽大学同例会

お問合せ／昭和音楽大学同例会本部

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6

TEL. 044-953-9862

[E-mail] dourei@tosei-showa-music.ac.jp

2026年9月発行